

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	保健体育総務管理事業（備前）		コード	担当課係	市民スポーツ課
			03-02-06-04	担当者	米田 昌子
事業実施期間			電話	63-3813	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	スポーツ・レクリエーション			
	施策	スポーツの普及活動と指導者の養成・確保			

事業について	
目的	市民が健康に過ごせるように、各種のスポーツ活動が出来るよう環境を整備・充実させ、スポーツの推進を図ります。
対象（誰のために）	備前地域の人で、スポーツを始めたい人、スポーツを楽しみたい人、競技スポーツを行っていない人。
内容	保健体育事務・体育指導委員会・スポーツ振興審議会・全国大会等出場選手激励金・県体育指導委員連絡協議会負担金・全国体育指導委員連絡協議会負担金・市体育協会活動補助金・スポーツ少年団活動補助金・地区体育施設整備費補助金

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など（単位）	回数など（単位）	回数など（単位）
体育指導委員会	5回		
スポーツ審議会	2回		
全国大会等出場選手激励金	144件		
市体育協会活動補助金	23団体		
スポーツ少年団活動補助金	33団		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	8,357	国庫補助金等	0	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	15,900	受益者負担	0	人件費		受益者負担	
			市債	0			市債	0
	合計	24,257	一般財源等	24,257	合計	0	一般財源等	0

必要人員	2.10	人		人
------	------	---	--	---

結果指標①	結果指標名	全国大会等出場選手補助金		
	結果指標量	144		
	単位	件		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	1,510,000	円	円
	単当たりコスト①	10,487	円	円

結果指標②	結果指標名	社会体育活動補助金		
	結果指標量	56		
	単位	団体		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	6,847,000	円	円
	単当たりコスト②		円	円

事業の成果			
成果指標名	全国大会等出場件数	式又は説明	全国大会等出場者への激励金交付
成果指標量	17年度 144		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	150	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：スポーツ振興法（体指・スポーツ振興審議会）
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	スポーツの振興を図りながらも、経費節減に努力していく。競技者の全国大会等への出場が増加することを期待する。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	144	結果指標量②	56
目標値	結果指標量	200	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	競技団体等と協力し、競技力を高めるようなイベントを行うよう促していく。	平成19年度	競技力の向上をはかる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

今後も、各種スポーツ活動ができるよう環境の整備・充実に努め、市民や競技者の技術向上を目指し、スポーツの振興を図っていく。

経費削減については、コストをおとす努力を続けていく。全国大会等の出場選手激励金については、件数が増えることを期待している。

激励金については、本人からの申請制なので、市民への周知を今後もしていく。